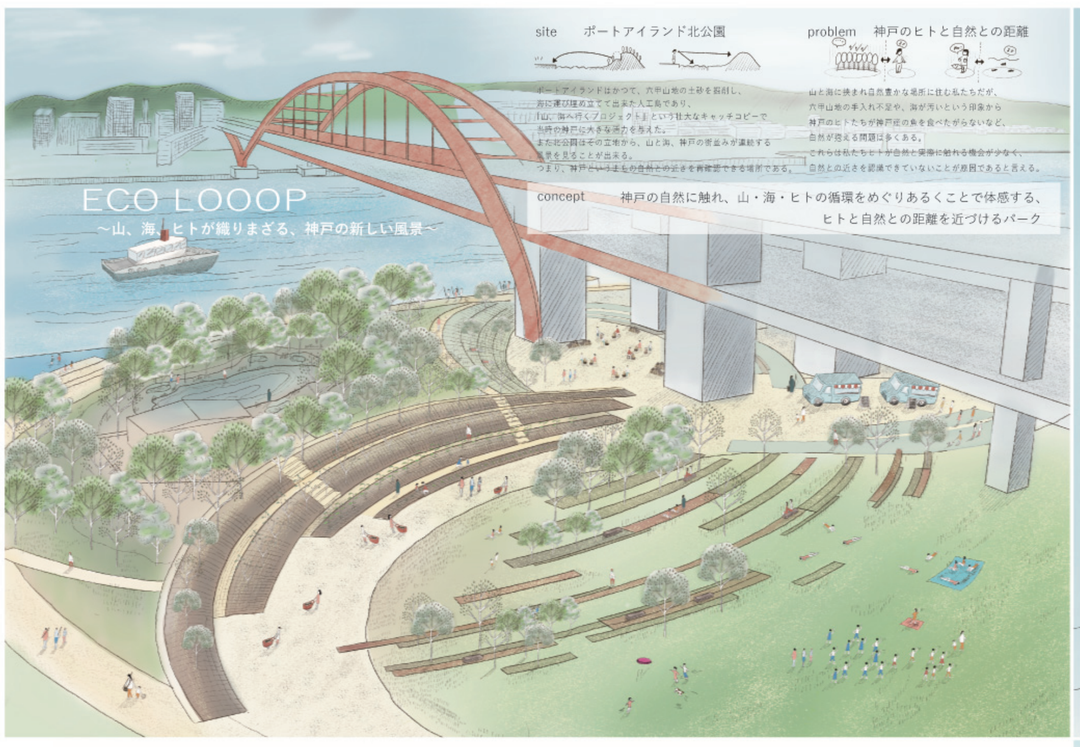
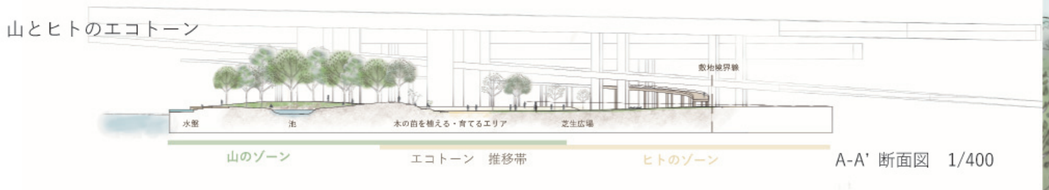
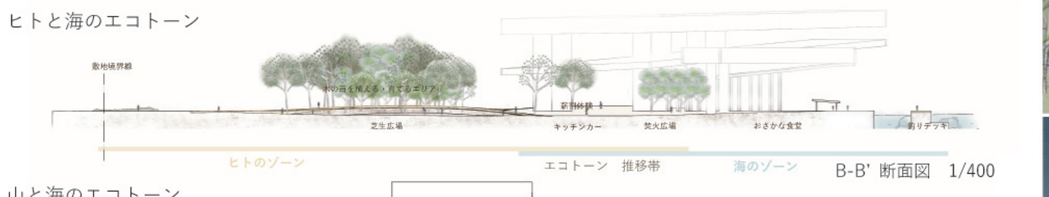
ECO LOOOP　～山、海、ヒトが織りまざる、神戸の新しい風景～

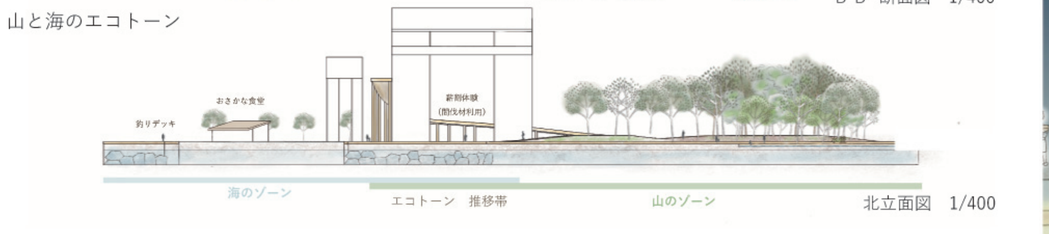
櫻井歌純

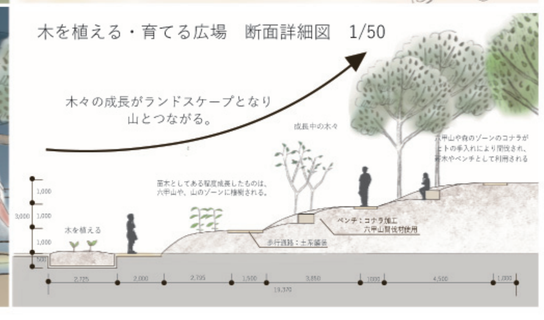
私たちヒトは神戸の山と海に挟まれたエコトーンに暮らしているが、スケールが大きすぎてそのことを忘れがちである。そこで、山・海・ヒトの領域を身体感覚に近いスケールで重ね合わせ、織りまぜるデザイン操作により、神戸の自然の循環をめぐりあるき体感できるパークを計画した。







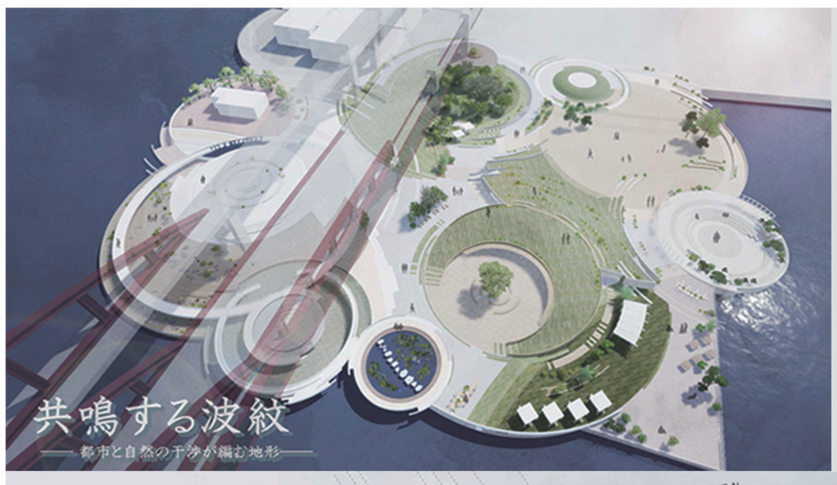


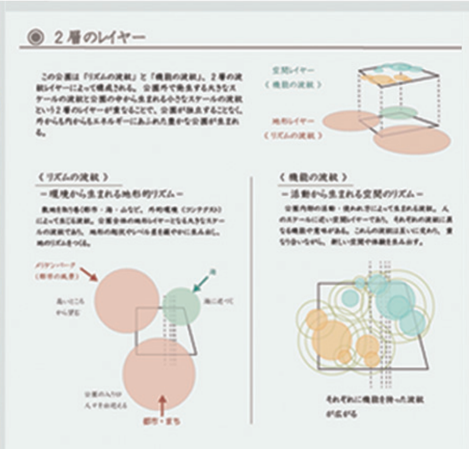


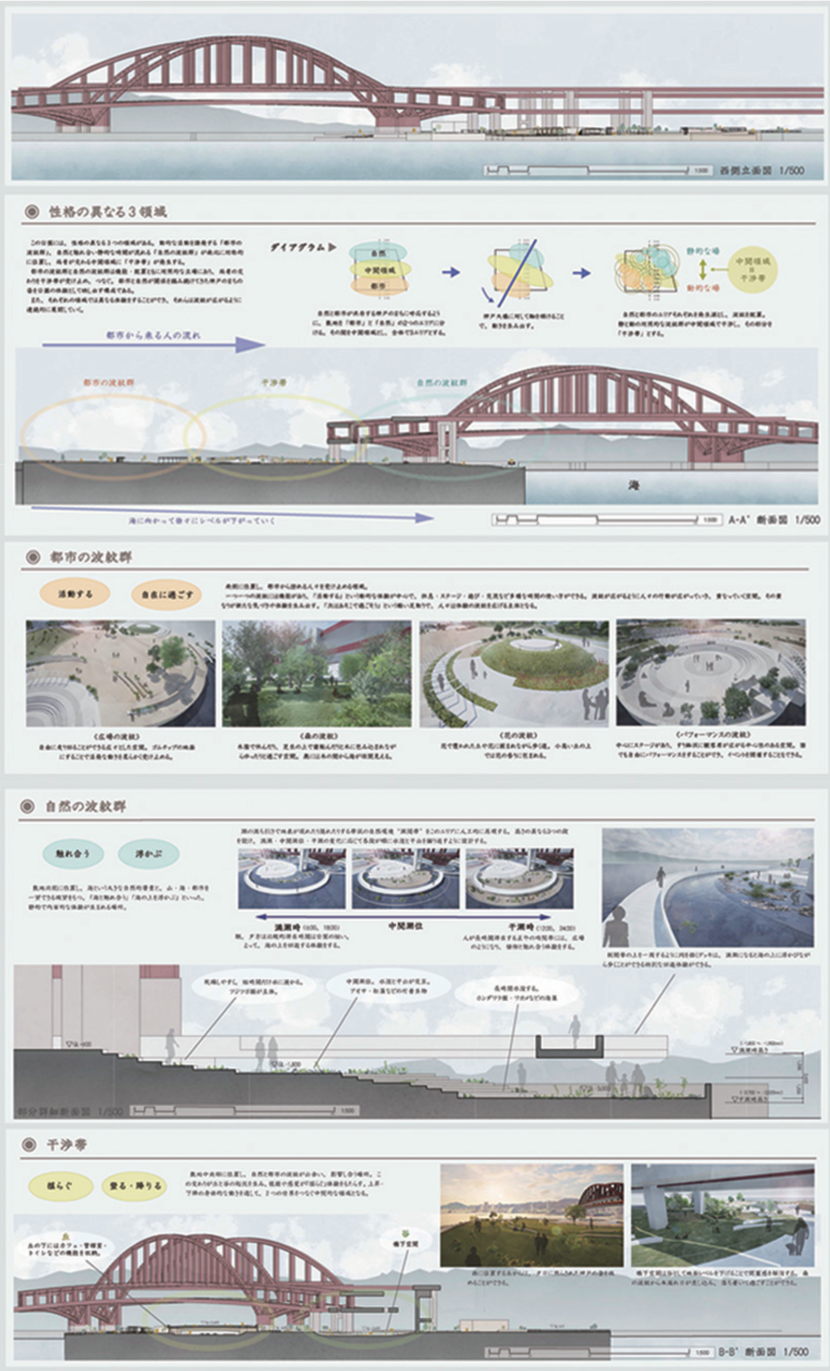
共鳴する波紋　―都市と自然の干渉が編む地形―

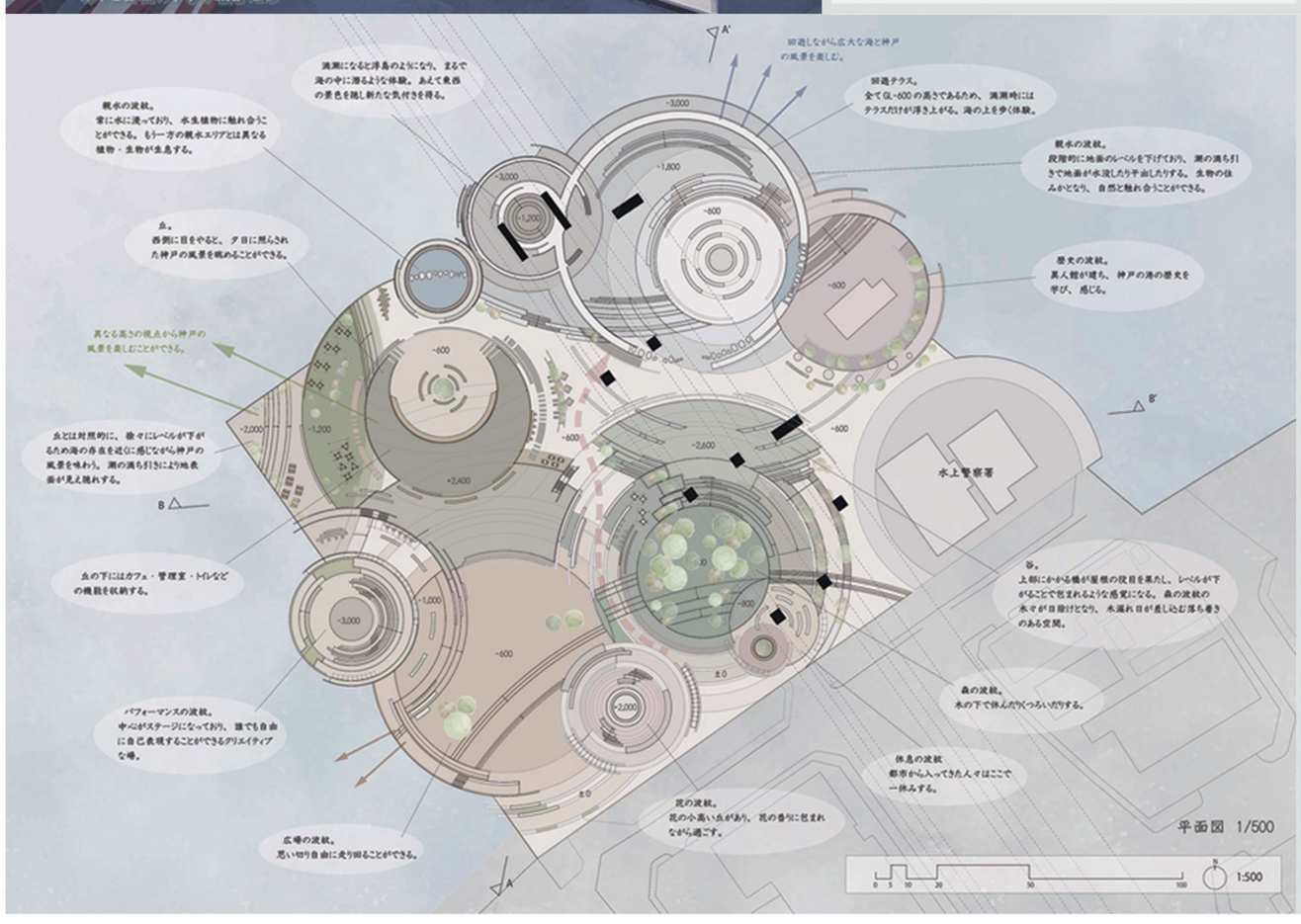
藤田答子

本計画は、周辺環境から生まれる地形の「リズムの波紋」と、使われ方を導く「機能の波紋」の二層で構成される。これらが重なり、海に近づく静的な「自然の波紋群」、都市の活動を受け止める「都市の波紋群」、その間で丘と谷が生まれる「干渉帯」という三つの領域が連続的に展開する。





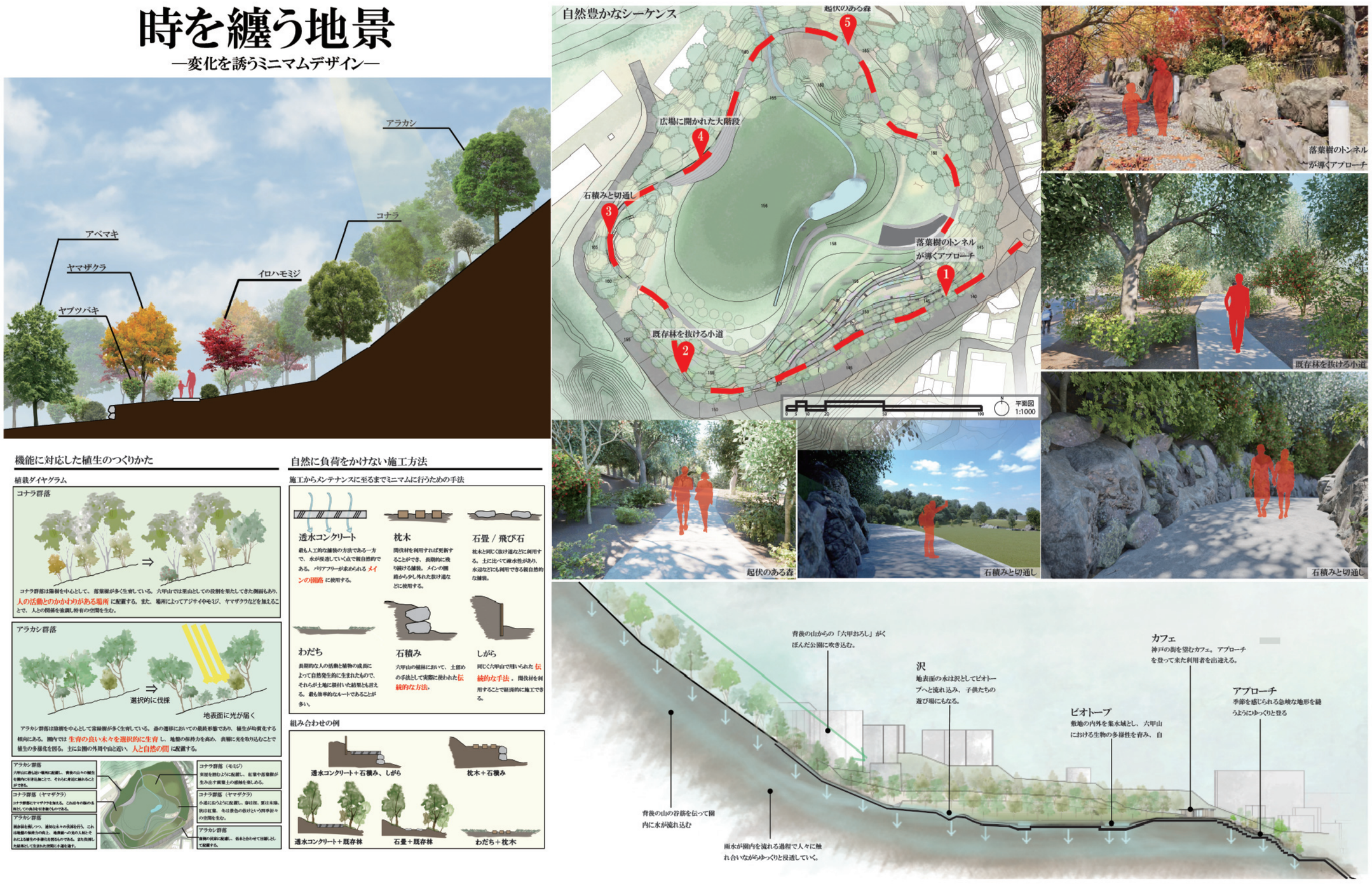




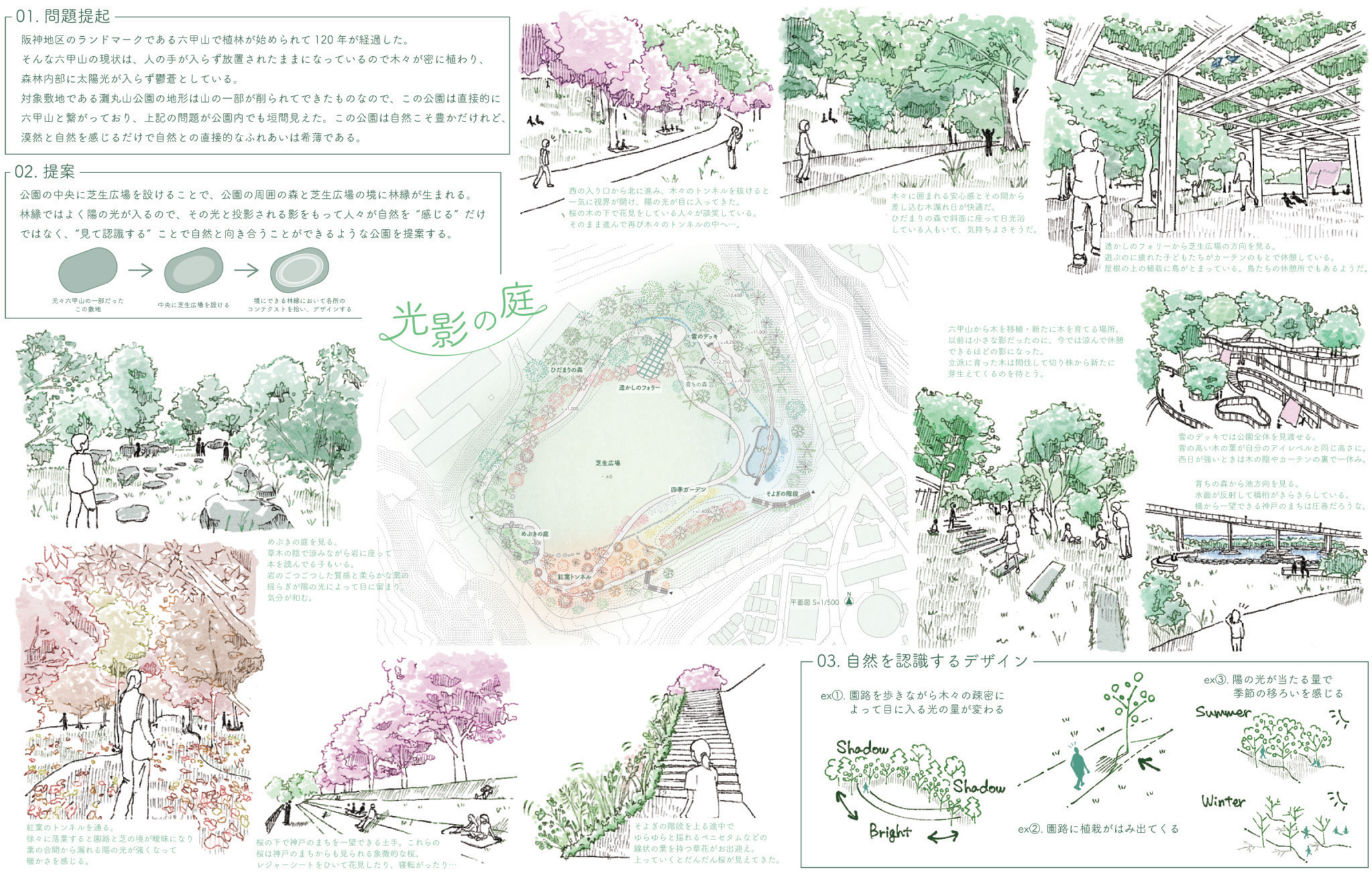
時を纏う地形　―変化を誘うミニマムデザイン

渡邊樹

六甲山と神戸の街の狭間に、市民が気軽に六甲山を感じることができる公園を提案する。六甲山の「歴史」や「植生」に着目したあらゆるデザインが豊かなシークエンスを創出するとともに、ミニマムな設計に留めることで周囲の環境への負荷を抑える。



光影の庭

森岡美颯

嘗て六甲山の地形の一部の森であったこの敷地の中央に芝生広場を設けることで、周囲の森と芝生広場の境に林縁が生まれる。その林縁に差し込む陽の光と投影される影によって、人々が自然を“感じる”だけでなく、“見て認識する”ことで自然と向き合うことのできる公園を設計する。